

官報

平 成 十 二 年 七 月 四 日

○第百四十八回 参議院會議録第一号

平成十二年七月四日(火曜日)

午前十時一分開議

○議事日程 第一号

平成十二年七月四日

午前十時開議

- 第一 議席の指定
- 第二 会期の件
- 第三 内閣総理大臣の指名

○本日の会議に付した案件

- 一、日程第一
- 一、新議員の紹介
- 一、皇太后陛下崩御につき弔意を表する件
- 一、元内閣総理大臣竹下登君逝去につき哀悼の件
- 一、特別委員会設置の件
- 一、日程第二及び第三

○議長(斎藤十朗君) 第百四十八回国会は本日をもって召集されました。
これより会議を開きます。

日程第一 議席の指定

議長は、本院規則第十四条の規定により、諸君の議席をたゞいまの仮議席のとおりに指定いたします。

○議長(斎藤十朗君) この際、新たに議席に着かれた議員を御紹介いたします。

議席第四十九番、選挙区選出議員、愛媛県選出、関谷勝嗣君。

(関谷勝嗣君起立、拍手)

○議長(斎藤十朗君) 議席第百五十五番、選挙区選出議員、三重県選出、高橋千秋君。

(高橋千秋君起立、拍手)

○議長(斎藤十朗君) 議席第四十八番、選挙区選出議員、石川県選出、沓掛哲男君。

(沓掛哲男君起立、拍手)

○議長(斎藤十朗君) 皇太后陛下には、去る六月十六日崩御せられました。まことに痛惜哀悼の至りにたえません。

皇太后陛下に対しましては、議長は、既に弔詞を奉呈いたしました。

ここにその弔詞を朗読いたします。

(総員起立)

皇太后陛下におかせられては、にわかに 崩御あらせられました。まことに 痛惜哀悼に堪えません。

皇太后陛下におかせられては、常に清明にして仁慈に富まれ、国民斉しく、尊崇敬慕申し上げているところでありました。参議院は、ここに国民の至情を代表して、恭しく弔意を表し奉ります。

○議長(斎藤十朗君) 元内閣総理大臣竹下登君は、去る六月十九日逝去されました。まことに痛惜哀悼の至りにたえません。

つきましては、この際、院議をもって同君に対し弔詞をささげることとしたと存じますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(斎藤十朗君) 御異議ないと認めます。弔詞を朗読いたします。

(総員起立)

参議院は、わが国、民主政治発展のため力を尽くされました。元内閣総理大臣正二位大勲位竹下登君の長逝に対し、つつしんで哀悼の意を表し、うやうやしく弔詞をささげます。

○議長(斎藤十朗君) この際、特別委員会の設置についてお諮りいたします。

災害に関する諸問題を調査し、その対策樹立に資するため、委員二十名から成る災害対策特別委員会を、

沖縄及び北方問題に関する対策樹立に資するため、委員二十名から成る沖縄及び北方問題に関する特別委員会を、

国会等の移転に関する調査のため、委員二十名から成る国会等の移転に関する特別委員会を、

行政改革・税制等に関する調査のため、委員四十五名から成る行政改革・税制等に関する特別委員会を、

金融問題及び経済活性化に関する調査のため、委員四十五名から成る金融問題及び経済活性化に関する特別委員会を、

また、選挙制度に関する調査のため、委員三十五名から成る選挙制度に関する特別委員会を、それぞれ設置いたしたいと存じます。

まず、災害対策特別委員会、沖縄及び北方問題に関する特別委員会、行政改革・税制等に関する特別委員会並びに金融問題及び経済活性化に関する特別委員会を設置することについて採決をいたします。

以上の四特別委員会を設置することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(斎藤十朗君) 異議ないと認めます。

よって、災害対策特別委員会外三特別委員会を設置することに決しました。

次に、国会等の移転に関する特別委員会及び選挙制度に関する特別委員会を設置することについて採決をいたします。

両特別委員会を設置することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長(斎藤十朗君) 過半数と認めます。

よって、両特別委員会を設置することに決しました。

本院規則第三十条の規定により、議長は、議席に配付いたしました氏名表のとおり特別委員を指名いたします。

議長の指名した委員は左のとおり

○災害対策特別委員

市川 一朗君	太田 豊秋君
加納 時男君	鹿熊 安正君
景山俊太郎君	田村 公平君
鶴保 庸介君	三浦 一水君
森山 裕君	江本 孟紀君
小山 峰男君	高嶋 良充君
高橋 千秋君	本岡 昭次君
加藤 修一君	但馬 久美君
大沢 辰美君	山下 芳生君
梶原 敬義君	岩本 莊太君

○沖縄及び北方問題に関する特別委員

海老原義彦君	鎌田 要人君
鴻池 祥肇君	末広まきこ君
月原 茂皓君	中川 義雄君
橋本 聖子君	森田 次夫君
山内 俊夫君	郡司 彰君
興石 東君	笹野 貞子君
松崎 俊久君	風間 昶君
木庭健太郎君	福本 潤一君
小泉 親司君	立木 洋君

○国会等の移転に関する特別委員

照屋 寛徳君	堂本 暁子君
尾辻 秀久君	太田 豊秋君
河本 英典君	久野 恒一君
国井 正幸君	保坂 三蔵君
山崎 正昭君	山下 善彦君
岡崎トミ子君	長谷川 清君
前川 忠夫君	山下八洲夫君
和田 洋子君	弘友 和夫君
渡辺 孝男君	緒方 靖夫君
畑野 君枝君	洲上 貞雄君
三重野栄子君	椎名 素夫君

○行財政改革・税制等に関する特別委員

阿南 一成君	入澤 肇君
岩瀬 良三君	岩永 浩美君
海老原義彦君	大島 慶久君
大野つや子君	片山虎之助君
亀井 郁夫君	亀谷 博昭君
久野 恒一君	佐藤 昭昭君
陣内 孝雄君	田浦 直君
谷川 秀善君	中島 啓雄君
畑 恵君	三浦 一水君
水島 裕君	吉村剛太郎君
脇 雅史君	伊藤 基隆君
石田 美栄君	今井 澄君
江田 五月君	小川 勝也君
木俣 佳文君	佐藤 泰介君
谷林 正昭君	内藤 正光君
福山 哲郎君	藤井 俊男君
荒木 清寛君	魚住裕一郎君
海野 義孝君	森本 晃司君
富樫 練三君	林 紀子君
吉岡 吉典君	吉川 春子君

○金融問題及び経済活性化に関する特別委員

日下部徳代子君	谷本 巍君
高橋 令則君	戸田 邦司君
石井 一二君	
市川 一朗君	岩城 光英君
上杉 光弘君	岡野 裕君
景山俊太郎君	河本 英典君
木村 仁君	佐々木知子君
須藤良太郎君	鈴木 正孝君
世耕 弘成君	中川 義雄君
中島 眞人君	日出 英輔君
星野 昴市君	真鍋 賢二君
松村 龍二君	溝手 顕正君
森田 次夫君	山内 俊夫君
山崎 力君	浅尾慶一郎君
海野 徹君	小川 敏夫君
勝木 健司君	川橋 幸子君
齋藤 勲君	櫻井 充君
直嶋 正行君	羽田雄一郎君
峰崎 直樹君	築瀬 進君
浜田卓二郎君	日笠 勝之君
益田 洋介君	森本 晃司君
池田 幹幸君	市田 忠義君
笠井 亮君	小池 晃君
大脇 雅子君	山本 正和君
田名部匡省君	渡辺 秀央君
西川きよし君	

○選挙制度に関する特別委員

阿南 一成君	有馬 朗人君
泉 信也君	岩永 浩美君
尾辻 秀久君	大島 慶久君
扇 千景君	亀井 郁夫君
岸 宏一君	齊藤 滋宣君

谷川 秀善君 仲道 俊哉君
長谷川道郎君 松村 龍二君
溝手 顕正君 吉村剛太郎君
足立 良平君 朝日 俊弘君
石田 美栄君 曾川 健二君
寺崎 昭久君 長谷川 清君
柳田 稔君 山下八洲夫君
魚住裕一郎君 大森 礼子君
弘友 和夫君 富樫 練三君
橋本 敦君 山下 芳生君
清水 澄子君 照屋 寛徳君
松岡満壽男君 平野 貞夫君
佐藤 道夫君

○議長(斎藤十朗君) これにて午後二時三十分まで休憩いたします。

午前十時八分休憩

午後四時一分開議

○議長(斎藤十朗君) 休憩前に引き続き、会議を開きます。

日程第二 会期の件

議長は、会期の件について議院運営委員会に諮りましたところ、会期を三日間とすべきであるとの決定がございました。

会期を三日間とすることに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長(斎藤十朗君) 過半数と認めます。

よって、会期は三日間と決定いたしました。

○議長(斎藤十朗君) 日程第三 内閣総理大臣の指名

本院規則第二十條の規定により、これより内閣総理大臣の指名を記名投票をもつて行います。議席に配付してございます記名投票用紙に国会議員のうち一人の氏名を記入して、御登壇の上、御投票をお願いします。

氏名点呼を行います。

〔参事氏名を点呼〕

〔投票執行〕

○議長(斎藤十朗君) 投票漏れはございませんか。——投票漏れはないと認めます。投票箱閉鎖。

〔投票箱閉鎖〕

○議長(斎藤十朗君) これより開票いたします。投票を参事に点検させます。

〔参事投票を計算、点検〕

○議長(斎藤十朗君) 投票の結果を報告いたします。

投票総数

二百四十二票

本投票の過半数は百二十一票でございます。

森喜朗君

百三十三票

鳩山由紀夫君

六十票

不破哲三君

二十三票

土井たか子君

十三票

椎名素夫君

五票

小沢一郎君

五票

菅直人君

一票

徳田虎雄君

一票

白票

一票

よつて、本院は、森喜朗君を内閣総理大臣に指名することに決しました。

〔拍手〕

〔投票者氏名は本号末尾に掲載〕

○議長(斎藤十朗君) 本日はこれにて散会いたします。

午後四時二十九分散会

出席者は左のとおり。

議長 斎藤 十朗君
副議長 菅野 久光君

議員

高橋 令則君 高橋紀世子君
山本 保君 加藤 修一君
戸田 邦司君 岩本 莊太君
益田 洋介君 森田 次夫君
平野 貞夫君 水野 誠一君
魚住裕一郎君 沢 たまき君
山内 俊夫君 末広まきこ君
田村 秀昭君 松岡満壽男君
高野 博師君 松 あきら君
大森 礼子君 渡辺 孝男君
鶴保 庸介君 長谷川道郎君
渡辺 秀央君 堂本 暁子君
弘友 和夫君 但馬 久美君
山下 栄一君 福本 潤一君
入澤 肇君 服部三男雄君
椎名 素夫君 日笠 勝之君
風間 昶君 木庭健太郎君
荒木 清寛君 月原 茂昭君
泉 信也君 浜四津敏子君

統 訓弘君 浜田卓二郎君
森本 晃司君 鶴岡 洋君
白浜 一良君 沓掛 哲男君
関谷 勝嗣君 星野 明市君
扇 千景君 世耕 弘成君
脇 雅史君 山下 善彦君
依田 智治君 森下 博之君
日出 英輔君 仲道 俊哉君
中川 義雄君 齊藤 滋宣君
佐藤 昭郎君 国井 正幸君
水島 裕君 岩瀬 良三君
山崎 力君 市川 一朗君
常田 享詳君 畑 恵君
鈴木 正孝君 田浦 直君
保坂 三蔵君 岩永 浩美君
田村 公平君 三浦 一水君
阿部 正俊君 矢野 哲朗君
山崎 正昭君 河本 英典君
太田 豊秋君 南野知恵子君
釜本 邦茂君 加藤 紀文君
上野 公成君 狩野 安君
佐藤 泰三君 松谷蒼一郎君
須藤良太郎君 久世 公義君
鴻池 祥肇君 西田 吉宏君
田中 直紀君 松田 岩夫君
陣内 孝雄君 中曾根弘文君
清水嘉与子君 青木 幹雄君
野沢 太三君 井上 吉夫君
吉川 芳男君 岡野 裕君
鈴木 政二君 金田 勝年君
林 芳正君 山本 一太君
佐々木知子君 久野 恒一君

岸 宏一君 木村 仁君
亀井 郁夫君 魚住 汎英君
景山俊太郎君 中島 啓雄君
阿南 一成君 有馬 朗人君
岩城 光英君 溝手 顕正君
龜谷 博昭君 北岡 秀二君
森山 裕君 橋本 聖子君
中原 爽君 中島 眞人君
谷川 秀善君 野間 越君
吉村剛太郎君 松村 龍二君
小山 孝雄君 加納 時男君
岩井 國臣君 海老原義彦君
武見 敬三君 片山虎之助君
尾辻 秀久君 鹿熊 安正君
大島 慶久君 成瀬 守重君
鎌田 要人君 石渡 清元君
若林 正俊君 村上 正邦君
倉田 寛之君 竹山 裕君
真鍋 賢二君 石井 道子君
坂野 重信君 上杉 光弘君
井上 裕君 岩崎 純三君
中村 敦夫君 高橋 千秋君
羽田雄一郎君 木俣 佳文君
浅尾慶一郎君 福山 哲郎君
櫻井 充君 郡司 彰君
佐藤 雄平君 小宮山洋子君
谷林 正昭君 小川 敏夫君
藤井 俊男君 高嶋 良充君
本田 良一君 松崎 俊久君
小川 勝也君 齋藤 勤君
平田 健二君 朝日 俊弘君
和田 洋子君 前川 忠夫君

伊藤 基隆君	小山 峰男君
江本 孟紀君	直嶋 正行君
石田 美栄君	円より子君
堀 利和君	今井 澄君
峰崎 直樹君	川橋 幸子君
岡崎トミ子君	篠瀬 進君
佐藤 泰介君	今泉 昭君
奥石 東君	足立 良平君
笹野 貞子君	千葉 景子君
山下八洲夫君	江田 五月君
薬科 満治君	北澤 俊美君
角田 義一君	本岡 昭次君
寺崎 昭久君	吉田 之久君
竹村 泰子君	内藤 正光君
西川きよし君	小池 晃君
宮本 岳志君	福島 瑞穂君
海野 徹君	島袋 宗康君
畑野 君枝君	小泉 親司君
照屋 寛徳君	菅川 健二君
石井 一二君	八田ひろ子君
富樫 練三君	大脇 雅子君
三重野栄子君	小林 元君
佐藤 道夫君	大沢 辰美君
井上 美代君	阿部 幸代君
須藤美也子君	清水 澄子君
長谷川 清君	柳田 稔君
岩佐 恵美君	林 紀子君
西山登紀子君	緒方 靖夫君
日下部代子君	谷本 巍君
広中和歌子君	勝木 健司君
池田 幹幸君	笠井 亮君
吉川 春子君	山下 芳生君

議員派遣中の議員

大野つや子君 海野 義孝君

第百四十七回国会及び第百四十七回国会閉会後の議長報告事項

去る五月三十一日議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。

総務委員

辞任 櫻井 充君 補欠 本田 良一君

法務委員

辞任 梶原 敬義君 補欠 福島 瑞穂君

外交・防衛委員

辞任 本田 良一君 補欠 浅尾慶一郎君

財政・金融委員

辞任 岩城 光英君 補欠 日出 英輔君

文教・科学委員

辞任 脇 雅史君 補欠 仲道 俊哉君

国民福祉委員

辞任 中島 啓雄君 補欠 尾辻 秀久君

経済・産業委員

辞任 弘友 和夫君 補欠 続 訓弘君

交通・情報通信委員

辞任 日出 英輔君 補欠 岩城 光英君

国土・環境委員

辞任 仲道 俊哉君 補欠 脇 雅史君

同日議長において、次のとおり特別委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。

選挙制度に関する特別委員

辞任 須藤良太郎君 補欠 大島 慶久君

同日本院は、次の衆議院提出案を可決した旨衆議院に通知した。

出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律の一部を改正する法律及び貸金業の規制等に関する法律の一部を改正する法律案

平和条約国籍離脱者等である戦没者遺族等に対する甲斐金等の支給に関する法律案

老人医療受給対象者に対する臨時老人薬剤費特別給付金の支給に関する法律案

同日本院は、衆議院送付の次の内閣提出案を可決した旨衆議院に通知した。

した旨衆議院に通知した。

再生資源の利用の促進に関する法律の一部を改正する法律案

特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律案

同日次の質問主意書を内閣に転送した。

人種差別撤廃条約の実施をめぐる諸問題に関する質問主意書(竹村泰子君提出)(第四〇号)

政府の国際人権条約履行義務に基づく東京都知事発言への対応に関する質問主意書(竹村泰子君提出)(第四一号)

国営謙早湾干拓事業に関する質問主意書(中村敦夫君提出)(第四二号)

睡眠時無呼吸症候群に関する質問主意書(櫻井充君提出)(第四三号)

税務行政における適正手続の法的整備に関する質問主意書(齊藤勲君提出)(第四四号)

中山間地農林業に対する所得政策に関する質問主意書(平田健二君提出)(第四五号)

同日次の法律の公布を奏上し、その旨衆議院に通知した。

出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律の一部を改正する法律及び貸金業の規制等に関する法律の一部を改正する法律案

再生資源の利用の促進に関する法律の一部を改正する法律案

平和条約国籍離脱者等である戦没者遺族等に対する甲斐金等の支給に関する法律案

老人医療受給対象者に対する臨時老人薬剤費特別給付金の支給に関する法律案

特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律案

同日本院は、閉会中次のとおり委員会及び調査会

が審査及び調査を継続することを議決した旨衆議院及び内閣に通知した。

決算委員会

一、平成十年度一般会計歳入歳出決算、平成十年度特別会計歳入歳出決算、平成十年度国税収納金整理資金受払計算書、平成十年度政府関係機関決算書

二、平成十年度国有財産増減及び現在額総計算書

三、平成十年度国有財産無償貸付状況総計算書

四、国家財政の経理及び国有財産の管理に関する調査

行政監視委員会

一、行政監視、行政監察及び行政に対する苦情に関する調査

災害対策特別委員会

一、災害対策樹立に関する調査

国際問題に関する調査会

一、国際問題に関する調査

国民生活・経済に関する調査会

一、国民生活・経済に関する調査

共生社会に関する調査会

一、共生社会に関する調査

去る六月一日議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。

交通・情報通信委員会

辞任

補欠

岩本 庄太君

奥村 展三君

国土・環境委員会

辞任

補欠

奥村 展三君

岩本 庄太君

予算委員

辞任

補欠

奥村 展三君

堂本 暁子君

同日議長において、次のとおり特別委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。

行政改革・税制等に関する特別委員

辞任

補欠

奥村 展三君

水野 誠一君

同日議員から次の質問主意書が提出された。

「神の国」発言に係る森喜朗内閣総理大臣の資質と暴力団に関する質問主意書(大脇雅子君提出)(第五一号)

循環型社会形成推進の基礎となる環境教育・環境学習に関する質問主意書(福本潤一君提出)(第五二号)

国際人権規約委員会「最終見解」についての実施状況に関する質問主意書(福島瑞穂君提出)(第五三号)

同日次の質問主意書を内閣に転送した。

芸術・文化の育成に関する質問主意書(但馬久美君提出)(第四六号)

東京電力MOX燃料の品質保証確認に関する質問主意書(福島瑞穂君提出)(第四七号)

厚木基地航空協定と米軍NLP及び曲技飛行に関する質問主意書(福島瑞穂君提出)(第四八号)

護衛艦さわぎり艦内での隊員自殺事件についての調査委員会報告書に関する質問主意書(福島瑞穂君提出)(第四九号)

BNFLデータ捏造事件に関する質問主意書(福島瑞穂君提出)(第五〇号)

「神の国」発言に関する森喜朗内閣総理大臣の資質と暴力団に関する質問主意書(大脇雅子君提出)(第五一号)

循環型社会形成推進の基礎となる環境教育・環境学習に関する質問主意書(福本潤一君提出)(第五二号)

国際人権規約委員会「最終見解」についての実施状況に関する質問主意書(福島瑞穂君提出)(第五三号)

同日議長は、滋賀県選挙区選出議員奥村展三君の辞職を許可した。

同日委員長から次の報告書が提出された。

国家行政組織及び国家公務員制度等に関する調査報告書

法務及び司法行政等に関する調査報告書

地方行政、選挙、消防、警察、交通安全及び海上保安等に関する調査報告書

外交、防衛等に関する調査報告書

財政及び金融等に関する調査報告書

教育、文化、学術及び科学技術に関する調査報告書

出(第五一号)

循環型社会形成推進の基礎となる環境教育・環境学習に関する質問主意書(福本潤一君提出)(第五二号)

国際人権規約委員会「最終見解」についての実施状況に関する質問主意書(福島瑞穂君提出)(第五三号)

去る六月二日内閣総理大臣から次の通知書を受領した。

別紙詔書が発せられた旨衆議院議長へお伝えいたします。

右お知らせいたします。

平成十二年六月二日

内閣総理大臣 森 喜朗

参議院議長 斎藤 十朗殿

(別紙) 日本国憲法第七条により、衆議院を解散する。

御名 御璽

同日議長は、滋賀県選挙区選出議員奥村展三君の辞職を許可した。

同日委員長から次の報告書が提出された。

国家行政組織及び国家公務員制度等に関する調査報告書

法務及び司法行政等に関する調査報告書

地方行政、選挙、消防、警察、交通安全及び海上保安等に関する調査報告書

社会保障等に関する調査報告書

労働問題及び社会政策に関する調査報告書

農林水産に関する調査報告書

経済、産業、貿易及び公正取引等に関する調査報告書

運輸事情、情報通信及び郵便等に関する調査報告書

国土整備及び環境保全等に関する調査報告書

国家の基本政策に関する調査報告書

予算の執行状況に関する調査報告書

沖縄及び北方問題に関する対策樹立に関する調査報告書

国会等の移転に関する調査報告書

行政改革・税制等に関する調査報告書

金融問題及び経済活性化に関する調査報告書

選挙制度に関する調査報告書

同日内閣から次の答弁書を受領した。

参議院議員福島瑞穂君提出国連女性二〇〇〇年会議の取組に関する質問に対する答弁書(第二七号)

参議院議員平田健二君提出無年金障害者を始めとする年金受給権問題に関する質問に対する答弁書(第二八号)

参議院議員櫻井充君提出公職選挙法に関する質問に対する答弁書(第三八号)

同日内閣から、次の質問については、いずれも検討する必要があり、これに日時を要するため、それぞれ明示する期限までに答弁する旨の国会法第七十五条第二項後段の規定による各通知書を受領した。

参議院議員櫻井充君提出医科・歯科の初診料・

再診料に関する質問(第三五号)(答弁すること
ができる期限 六月二十八日)

参議院議員平田健二君提出精神障害者施策の拡
充に関する質問(第三七号)(同 六月二十一日)

参議院議員櫻井充君提出介護現場におけるアロ
マセラピーの臨床実践に関する質問(第三九号)
(同 六月二十八日)

去る六月六日内閣から次の答弁書を受領した。

参議院議員福島瑞穂君提出戸籍の統制の記載
に関する質問に対する答弁書(第三〇号)

同日内閣から、次の質問については、いずれも検
討する必要があり、これに日時を要するため、そ
れぞれ明示する期限までに答弁する旨の国会法第
七十五条第二項後段の規定による各通知書を受領
した。

参議院議員竹村泰子君提出人種差別撤廃条約の
実施をめぐる諸問題に関する質問(第四〇号)

(答弁することができる期限 七月十七日)

参議院議員竹村泰子君提出政府の国際人権条約
履行義務に基づく東京都知事発言への対応に関
する質問(第四一号)(同 七月十日)

参議院議員中村敦夫君提出国営早濤干拓事業
に関する質問(第四二号)(同 八月九日)

参議院議員櫻井充君提出睡眠時無呼吸症候群に
関する質問(第四三号)(同 六月二十八日)

参議院議員齋藤勲君提出税務行政における適正
手続の法的整備に関する質問(第四四号)(同
六月二十八日)

参議院議員平田健二君提出中山間地農林業に対
する所得政策に関する質問(第四五号)(同 七
月三日)

参議院議員但馬久美君提出芸術・文化の育成に

関する質問(第四六号)(同 六月二十一日)

参議院議員福島瑞穂君提出東京電力MOX燃料
の品質保証確認に関する質問(第四七号)(同
七月十九日)

参議院議員福島瑞穂君提出厚木基地航空協定と
米軍NLP及び曲枝飛行に関する質問(第四八
号)(同 六月二十一日)

参議院議員福島瑞穂君提出護衛艦さわぎり艦内
での隊員自殺事件についての調査委員会報告書
に関する質問(第四九号)(同 六月二十六日)

参議院議員福島瑞穂君提出B N F Lデータ捏造
事件に関する質問(第五〇号)(同 六月二十八
日)

参議院議員大脇雅子君提出「神の国」発言に係る
森喜朗内閣総理大臣の資質と暴力団に関する質
問(第五一号)(同 六月九日)

参議院議員福本潤一君提出循環型社会形成推進
の基礎となる環境教育・環境学習に関する質問
(第五二号)(同 七月十日)

参議院議員福島瑞穂君提出国際人権規約委員会
「最終見解」についての実施状況に関する質問
(第五三号)(同 八月三十日)

同日内閣から、国際連合平和維持活動等に対する
協力に関する法律第七条の規定に基づくボスニ
ア・ヘルツェゴヴィナ国際平和協力業務の実施の
結果の報告を受領した。

同日内閣から、首都圏整備法第三十条の二の規定
に基づく平成十一年度首都圏整備に関する年次報
告を受領した。

同日内閣を経由して日本銀行総裁から、日本銀行
法第五十四条第一項の規定に基づく通貨及び金融
の調節に関する報告書を受領した。

去る六月八日議長は、前内閣総理大臣小淵恵三君
に対しさきに議決した弔詞をささげた。

去る六月九日内閣から次の答弁書を受領した。

参議院議員清水澄子君提出日朝国交正常化に関
する質問に対する答弁書(第二四号)

参議院議員福島瑞穂君提出ジェット練習機墜落
事故と市街地上空での自衛隊機の飛行に関する
質問に対する答弁書(第三号)

参議院議員大脇雅子君提出「神の国」発言に係る
森喜朗内閣総理大臣の資質と暴力団に関する質
問に対する答弁書(第五一号)

同日内閣から、国家公務員倫理法第五條第六項の
規定に基づく中央省庁等改革のための総務省関係
政令等の整備に関する政令等における国家公務員
倫理規程の一部改正の報告を受領した。

同日内閣から、自衛隊員倫理法第五條第五項の規
定に基づく中央省庁等改革のための内閣関係政令
等の整備に関する政令における自衛隊員倫理規程
の一部改正の報告を受領した。

同日内閣から、科学技術基本法第八條の規定に基
づく平成十一年度科学技術の振興に関する年次報
告を受領した。

同日内閣から、土地基本法第十條第一項の規定に
基づく平成十一年度土地の動向に関する年次報告
及び同法第十條第二項の規定に基づく平成十二年
度において土地に関して講じようとする基本的な
施策についての文書を受領した。

去る六月十六日議長は、小淵前内閣総理大臣の逝
去に際し、ファード・ムバッザ・テュニジア共
和国国会議長より弔意表明の書簡を受け受領した。

去る六月二十日内閣から次の答弁書を受領した。

参議院議員櫻井充君提出東海村臨界事故に関する
質問に対する答弁書(第三二一号)

参議院議員照屋寛徳君提出「衆議院議員伊藤茂
君提出北富士演習場地区に係わる林野雑産物損
失補償金の支出に関する質問に対する答弁書」
に関する質問に対する答弁書(第三四号)

参議院議員平田健二君提出精神障害者施策の拡
充に関する質問に対する答弁書(第三七号)

参議院議員櫻井充君提出介護現場におけるアロ
マセラピーの臨床実践に関する質問に対する答
弁書(第三九号)

参議院議員齋藤勲君提出税務行政における適正
手続の法的整備に関する質問に対する答弁書
(第四四号)

参議院議員但馬久美君提出芸術・文化の育成に
関する質問に対する答弁書(第四六号)

参議院議員福島瑞穂君提出厚木基地航空協定と
米軍NLP及び曲枝飛行に関する質問に対する
答弁書(第四八号)

参議院議員福島瑞穂君提出護衛艦さわぎり艦内
での隊員自殺事件についての調査委員会報告書
に関する質問に対する答弁書(第四九号)

同日内閣から、国際連合平和維持活動等に対する
協力に関する法律第七条の規定に基づくゴラン高
原国際平和協力業務実施計画の変更の報告を受領
した。

同日内閣から、国際連合平和維持活動等に対する
協力に関する法律第七条の規定に基づくゴラン高
原国際平和協力業務の実施の状況の報告を受領し
た。

去る六月二十七日内閣総理大臣から、次のとおり
補欠選挙に当選した旨の通知書を受領した。

愛媛県選挙区選出(六月二十七日当選)

関谷 勝嗣君 (塩崎恭久君の補欠)

同日内閣から次の答弁書を受領した。

参議院議員櫻井充君提出医科・歯科の初診料・再診料に関する質問に対する答弁書(第三五号)

参議院議員櫻井充君提出睡眠時無呼吸症候群に関する質問に対する答弁書(第四三号)

参議院議員福島瑞穂君提出BNFLデータ捏造事件に関する質問に対する答弁書(第五〇号)

去る六月二十八日内閣総理大臣から、次のとおり補欠選挙に当選した旨の通知書を受領した。

三重県選挙区選出(六月二十八日当選)

高橋 千秋君 (平田耕一君の補欠)

去る六月二十九日内閣総理大臣から、次のとおり補欠選挙に当選した旨の通知書を受領した。

石川県選挙区選出(六月二十八日当選)

杵掛 哲男君 (馳浩君の補欠)

同日議長において、常任委員を次のとおり指名した。

地方行政・警察委員 関谷 勝嗣君
財政・金融委員 杵掛 哲男君
交通・情報通信委員 高橋 千秋君

同日議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。
予算委員 辞任 補欠
行政監視委員 高橋 令則君 補欠 椎名 素夫君
辞任 渡辺 秀央君 補欠 高橋紀世子君

同日議長において、次のとおり調査会委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。

国際問題に関する調査会委員 辞任 補欠

国民生活・経済に関する調査会委員 高橋 令則君 補欠 松岡満壽男君

辞任 戸田 邦司君 補欠 高橋紀世子君

同日議長において、次のとおり憲法調査会委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。

平野 貞夫君 補欠 椎名 素夫君

去る六月三十日議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。

交通・情報通信委員 辞任 補欠

国土・環境委員 戸田 邦司君 補欠 岩本 莊太君

辞任 岩本 莊太君 補欠 戸田 邦司君

決算委員 辞任 補欠

行政監視委員 岩本 莊太君 補欠 田名部匡省君

辞任 田名部匡省君 補欠 岩本 莊太君

同日議長において、次のとおり調査会委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。

国民生活・経済に関する調査会委員 辞任 補欠

松岡満壽男君 補欠 水野 誠一君

共生社会に関する調査会委員 辞任 補欠

堂本 暁子君 補欠 高橋紀世子君

同日議長において、次のとおり憲法調査会委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。

辞任 水野 誠一君 補欠 松岡満壽男君

同日内閣から次の答弁書を受領した。

参議院議員平田健二君提出中山間地農林業に対する所得政策に関する質問に対する答弁書(第四五号)

参議院議員福本潤一君提出循環型社会形成推進の基礎となる環境教育・環境学習に関する質問に対する答弁書(第五二号)

昨日議長において、次のとおり常任委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。

総務委員 辞任 補欠

法務委員 高橋 令則君 補欠 平野 貞夫君

辞任 平野 貞夫君 補欠 高橋 令則君

文教・科学委員 辞任 補欠

交通・情報通信委員 福本 潤一君 補欠 日笠 勝之君

辞任 日笠 勝之君 補欠 福本 潤一君

国家基本政策委員 辞任 補欠

尾辻 秀久君 補欠 景山俊太郎君

決算委員 辞任 補欠

田名部匡省君 補欠 岩本 莊太君

行政監視委員 辞任 補欠

岩本 莊太君 補欠 田名部匡省君

同日議長において、次のとおり調査会委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。

国民生活・経済に関する調査会委員 辞任 補欠

水野 誠一君 補欠 松岡満壽男君

共生社会に関する調査会委員 辞任 補欠

高橋紀世子君 補欠 堂本 暁子君

同日議長において、次のとおり憲法調査会委員の辞任を許可し、その補欠を指名した。

辞任 松岡満壽男君 補欠 水野 誠一君

同日委員長及び調査会長から次の報告書が提出された。

平成十年度一般会計歳入歳出決算、平成十年度特別会計歳入歳出決算、平成十年度国保税納金整理資金受払計算書、平成十年度政府関係機関決算書審査報告書

平成十年度国有財産増減及び現在額総計算書審査報告書

平成十年度国有財産無償貸付状況総計算書審査報告書

国家財政の経理及び国有財産の管理に関する調査報告書

行政監視、行政監察及び行政に対する苦情に関する調査報告書

災害対策樹立に関する調査報告書
国際問題に関する調査報告書
国民生活・経済に関する調査報告書
共生社会に関する調査報告書

本日内閣総理大臣から次の通知書を受領した。

平成十二年七月四日

内閣総理大臣 森 喜朗
参議院議長 斎藤 十朗殿

内閣は、日本国憲法第七十条により、本日総辞職することに決定いたしましたから、国会法第六十四条によって、この旨通知いたします。

投票者氏名

内閣総理大臣の指名

森喜朗君に投票した者の氏名

阿南 一成君	阿部 正俊君
青木 幹雄君	有馬 朗人君
井上 吉夫君	井上 裕君
石井 道子君	石渡 清元君
泉 信也君	市川 一朗君
入澤 肇君	岩井 國臣君
岩城 光英君	岩崎 純三君
岩瀬 良三君	岩永 浩美君
上杉 光弘君	上野 公成君
海老原義彦君	尾辻 秀久君
大島 慶久君	太田 豊秋君
扇 千景君	岡野 裕君
加藤 紀文君	加納 時男君
狩野 安君	鹿熊 安正君
景山俊太郎君	片山虎之助君

金田 勝年君	釜本 邦茂君
鎌田 要人君	亀井 郁夫君
亀谷 博昭君	河本 英典君
木村 仁君	岸 宏一君
北岡 秀二君	久世 公義君
久野 恒一君	香掛 哲男君
国井 正幸君	倉田 寛之君
小山 孝雄君	鴻池 祥肇君
佐々木知子君	佐藤 昭郎君
佐藤 泰三君	齊藤 滋宣君
清水嘉与子君	陣内 孝雄君
須藤良太郎君	末広まきこ君
鈴木 政二君	鈴木 正孝君
世耕 弘成君	関谷 勝嗣君
田浦 直君	田中 直紀君
田村 公平君	竹山 裕君
武見 敬三君	谷川 秀善君
月原 茂皓君	常田 享祥君
鶴保 庸介君	中川 義雄君
中島 啓雄君	中島 眞人君
中曾根弘文君	中原 爽君
仲道 俊哉君	成瀬 守重君
西田 吉宏君	野沢 太三君
野間 越君	南野知恵子君
長谷川道郎君	橋本 聖子君
畑 恵君	服部三男雄君
林 芳正君	日出 英輔君
保坂 三蔵君	星野 明市君
真鍋 賢二君	松谷蒼一郎君
松田 岩夫君	松村 龍二君
三浦 一水君	水島 裕君
溝手 顕正君	村上 正邦君

鳩山由紀夫君に投票した者の氏名

森下 博之君	森田 次夫君
森山 裕君	矢野 哲朗君
山内 俊夫君	山崎 力君
山崎 正昭君	山下 善彦君
山本 一太君	依田 智治君
吉川 芳男君	吉村剛太郎君
若林 正俊君	脇 雅史君
荒木 清寛君	魚住裕一郎君
大森 礼子君	加藤 修一君
風間 昶君	木庭健太郎君
沢 たまき君	白浜 一良君
高野 博師君	但馬 久美君
続 訓弘君	鶴岡 洋君
浜田卓二郎君	浜四津敏子君
日笠 勝之君	弘友 和夫君
福本 潤二君	益田 洋介君
松 あきら君	森本 晃司君
山下 栄一君	山本 保君
渡辺 孝男君	西川きよし君
魚住 汎英君	
足立 良平君	浅尾慶一郎君
朝日 俊弘君	伊藤 基隆君
石田 美栄君	今井 澄君
今泉 昭君	海野 徹君
江田 五月君	江本 孟紀君
小川 勝也君	小川 敏夫君
岡崎トミ子君	勝木 健司君
川橋 幸子君	木俣 佳文君
北澤 俊美君	久保 亘君
郡司 彰君	小林 元君

不破哲三君に投票した者の氏名

小宮山洋子君	小山 峰男君
奥石 東君	佐藤 泰介君
佐藤 雄平君	齋藤 勲君
櫻井 充君	笹野 貞子君
曾川 健二君	高嶋 良充君
高橋 千秋君	竹村 泰子君
谷林 正昭君	千葉 景子君
角田 義一君	寺崎 昭久君
内藤 正光君	直嶋 正行君
羽田雄一郎君	長谷川 清君
平田 健二君	広中和歌子君
福山 哲郎君	藤井 俊男君
堀 利和君	本田 良一君
前川 忠夫君	松崎 俊久君
松前 達郎君	円 より子君
峰崎 直樹君	本岡 昭次君
篠瀬 進君	柳田 稔君
山下八洲夫君	吉田 之久君
和田 洋子君	薬科 満治君
佐藤 道夫君	曾野 久光君
阿部 幸代君	井上 美代君
池田 幹幸君	市田 忠義君
岩佐 恵美君	緒方 靖夫君
大沢 辰美君	笠井 亮君
小池 晃君	小泉 親司君
須藤美也子君	立木 洋君
富樫 練三君	西山登紀子君
橋本 敦君	畑野 君枝君
八田ひろ子君	林 紀子君
筆坂 秀世君	宮本 岳志君

山下 芳生君 吉岡 吉典君
吉川 春子君

土井たか子君に投票した者の氏名

大淵 綱子君 大脇 雅子君
梶原 敬義君 日下部禮代子君
清水 澄子君 谷本 巍君
照屋 寛徳君 田 英夫君
福島 瑞穂君 淵上 貞雄君
三重野栄子君 山本 正和君
島袋 宗康君

椎名素夫君に投票した者の氏名

岩本 莊太君 椎名 素夫君
堂本 暁子君 松岡満壽男君
水野 誠一君

小沢一郎君に投票した者の氏名

田村 秀昭君 高橋 令則君
戸田 邦司君 平野 貞夫君
渡辺 秀央君

菅直人君に投票した者の氏名

中村 敦夫君

徳田虎雄君に投票した者の氏名

石井 一二君

白 票

高橋紀世子君

(参照)
指定された議席番号は左のとおり。

一	高橋 令則君
二	高橋紀世子君
三	山本 保君
四	加藤 修一君
五	戸田 邦司君
六	岩本 莊太君
七	益田 洋介君
八	海野 義孝君
九	森田 次夫君
一〇	平野 貞夫君
一一	水野 誠一君
一二	魚住裕一郎君
一三	沢 たまき君
一四	山内 俊夫君
一五	末広まきこ君
一六	田村 秀昭君
一七	松岡満壽男君
一八	高野 博師君
一九	松 あきら君
二〇	大森 礼子君
二一	渡辺 孝男君
二二	鶴保 庸介君
二三	長谷川道郎君
二四	渡辺 秀央君
二五	堂本 暁子君
二六	弘友 和夫君
二七	但馬 久美君
二八	山下 栄一君
二九	
三〇	

三一	福本 潤一君
三二	入澤 肇君
三三	服部三男雄君
三四	椎名 素夫君
三五	田名部匡省君
三六	日笠 勝之君
三七	風間 昶君
三八	木庭健太郎君
三九	荒木 清寛君
四〇	月原 茂皓君
四一	泉 信也君
四二	浜四津敏子君
四三	統 訓弘君
四四	浜田卓二郎君
四五	森本 晃司君
四六	鶴岡 洋君
四七	白浜 一良君
四八	沓掛 哲男君
四九	関谷 勝嗣君
五〇	星野 朋市君
五一	扇 千景君
五二	世耕 弘成君
五三	脇 雅史君
五四	山下 善彦君
五五	長峯 基君
五六	依田 智治君
五七	森下 博之君
五八	日出 英輔君
五九	仲道 俊哉君
六〇	中川 義雄君
六一	齊藤 滋宣君
六二	佐藤 昭郎君

六三	国井 正幸君
六四	水島 裕君
六五	岩瀬 良三君
六六	山崎 力君
六七	市川 一朗君
六八	常田 享詳君
六九	畑 恵君
七〇	鈴木 正孝君
七一	田浦 直君
七二	保坂 三蔵君
七三	岩永 浩美君
七四	田村 公平君
七五	三浦 一水君
七六	阿部 正俊君
七七	矢野 哲朗君
七八	山崎 正昭君
七九	河本 英典君
八〇	太田 豊秋君
八一	南野知恵子君
八二	釜本 邦茂君
八三	加藤 紀文君
八四	上野 公成君
八五	狩野 安君
八六	佐藤 泰三君
八七	岡 利定君
八八	松谷蒼一郎君
八九	須藤良太郎君
九〇	久世 公義君
九一	鴻池 祥肇君
九二	西田 吉宏君
九三	田中 直紀君
九四	松田 岩夫君

九五	陣内 孝雄君	二二七	谷川 秀善君	一九一	奥石 東君
九六	中曾根弘文君	二二八	野間 越君	一九二	足立 良平君
九七	清水嘉与子君	二二九	吉村剛太郎君	一九三	笹野 貞子君
九八	青木 幹雄君	二三〇	松村 龍二君	一九四	千葉 景子君
九九	野沢 太三君	三三一	小山 孝雄君	一九五	菅野 久光君
一〇〇	井上 吉夫君	三三二	加納 時男君	一九六	山下八洲夫君
一〇一	吉川 芳男君	三三三	岩井 國臣君	一九七	江田 五月君
一〇二	岡野 裕君	三三四	海老原義彦君	一九八	藥科 満治君
一〇三	鈴木 政二君	三三五	武見 敬三君	一九九	北澤 俊美君
一〇四	金田 勝年君	三三六	片山虎之助君	二〇〇	角田 義一君
一〇五	林 芳正君	三三七	尾辻 秀久君	二〇一	本岡 昭次君
一〇六	山本 一太君	三三八	鹿熊 安正君	二〇二	寺崎 昭久君
一〇七		三三九	大島 慶久君	二〇三	吉田 之久君
一〇八	佐々木知子君	三四〇	成瀬 守重君	二〇四	竹村 泰子君
一〇九	久野 恒一君	三四一	鎌田 要人君	二〇五	内藤 正光君
一一〇	岸 宏一君	三四二	石渡 清元君	二〇六	西川きよし君
一一一	木村 仁君	三四三	若林 正俊君	二〇七	小池 晃君
一一二	龜井 郁夫君	三四四	村上 正邦君	二〇八	宮本 岳志君
一一三	魚住 汎英君	三四五	倉田 寛之君	二〇九	福島 瑞穂君
一一四	景山俊太郎君	三四六	竹山 裕君	二一〇	海野 徹君
一一五	中島 啓雄君	三四七	真鍋 賢二君	二一一	島袋 宗康君
一一六	大野つや子君	三四八	石井 道子君	二一二	畑野 君枝君
一一七	阿南 一成君	三四九	坂野 重信君	二二三	小泉 親司君
一一八	有馬 朗人君	一五〇	上杉 光弘君	二二四	
一一九	岩城 光英君	一五一	井上 裕君	二二五	照屋 寛徳君
一二〇	溝手 顕正君	一五二	岩崎 純三君	二二六	菅川 健二君
一二一	龜谷 博昭君	一五三	斎藤 十朗君	二二七	石井 一二君
一二二	北岡 秀二君	一五四	中村 敦夫君	二二八	八田ひろ子君
一二三	森山 裕君	一五五	高橋 千秋君	二二九	富樫 練三君
一二四	橋本 聖子君	一五六	羽田雄一郎君	二三〇	大脇 雅子君
一二五	中原 爽君	一五七	木俣 佳文君	二三一	三重野栄子君
一二六	中島 眞人君	一五八	浅尾慶一郎君	二三二	小林 元君

官 報 (号 外)

二三三	佐藤 道夫君
二三四	大沢 辰美君
二三五	井上 美代君
二二六	阿部 幸代君
二二七	須藤美也子君
二二八	菅野 壽君
二二九	清水 澄子君
二三〇	長谷川 清君
二三一	柳田 稔君
二三二	岩佐 恵美君
二三三	林 紀子君
二三四	西山登紀子君
二三五	緒方 靖夫君
二三六	旦下部禮代子君
二三七	谷本 巍君
二三八	広中和歌子君
二三九	勝木 健司君
二四〇	池田 幹幸君
二四一	笠井 亮君
二四二	吉川 春子君
二四三	山下 芳生君
二四四	淵上 貞雄君
二四五	大淵 絹子君
二四六	松前 達郎君
二四七	久保 亘君
二四八	吉岡 古典君
二四九	市田 忠義君
二五〇	筆坂 秀世君
二五一	橋本 敦君
二五二	立木 洋君
二五三	田 英夫君
二五四	梶原 敬義君

二五五

山本 正和君

平成十二年七月四日 参議院會議録第一号

明治三十五年三月三十一日
第三種郵便物認可

発行所
東京一〇五
番四号
大蔵省印刷局
港区虎ノ門二丁目

電 話
03
(3587)
4294

定 価
（本体） 本号一部
二一五円
一〇四